

食品ロスに関するアンケート調査結果

廃棄物対策課

1 調査目的

県では、「食品ロス」に対する県民の皆さんの意識の高揚を図り、食品ロスを削減するため、「ぎふ食べきり運動」として食べ残しを減らす工夫をする協力店・協力企業の登録や、レシコンテストなどに取り組んでいます。

そこで、今後の取組みの参考にさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター835人(うちインターネットモニター506人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和2年8月12日～8月31日

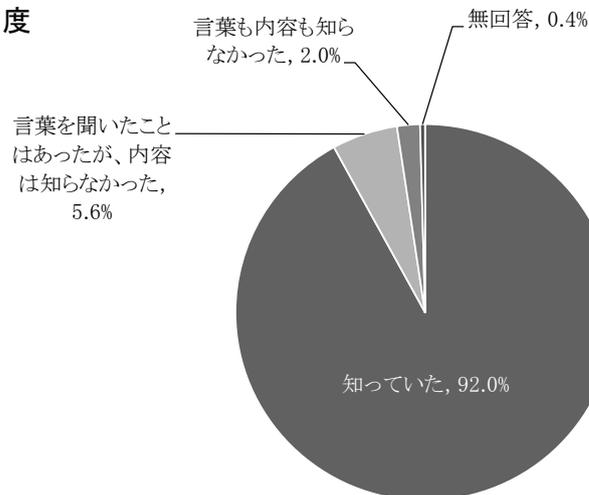
回収結果: 715人(回収率85.6%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 食品ロスの認知度



○ 食品ロスの発生頻度

月に数回以上、食品ロスが発生している家庭は全体の80.3%を占めた。

○ 食品ロスの発生理由

家庭から発生する食品ロスのうち、最も多いのは「消費又は賞味期限切れ」で回答者の71.7%を占めた。

○ 「ぎふ食べきり運動」の認知度

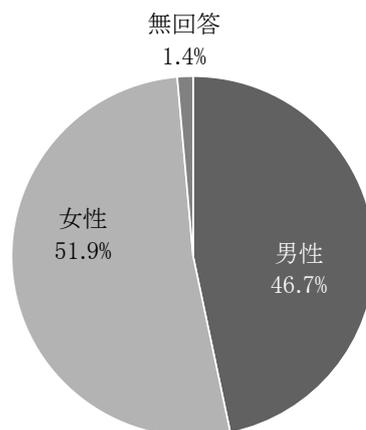
「ぎふ食べきり運動」について「知らない(今回初めて知った)」の回答者が78.3%となった。

「ぎふ食べきり運動」について知っているとする回答者のうち、登録店のポスターやのぼりで活動を知った方が最も多い。

4 回答者属性

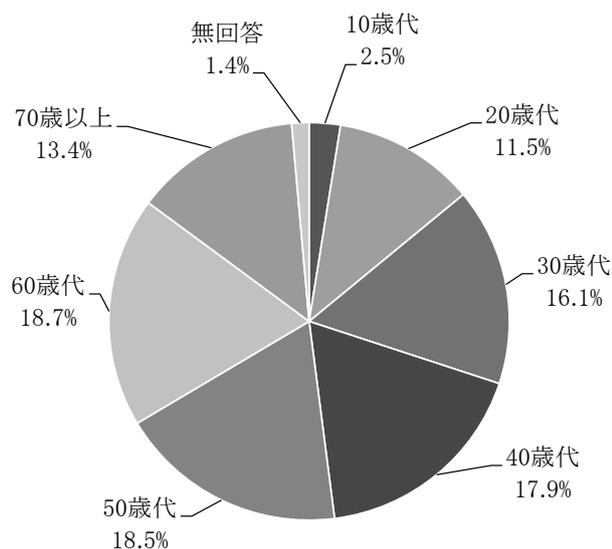
(1) 性別

	人数	割合
男性	334	46.7%
女性	371	51.9%
無回答	10	1.4%
計	715	100.0%



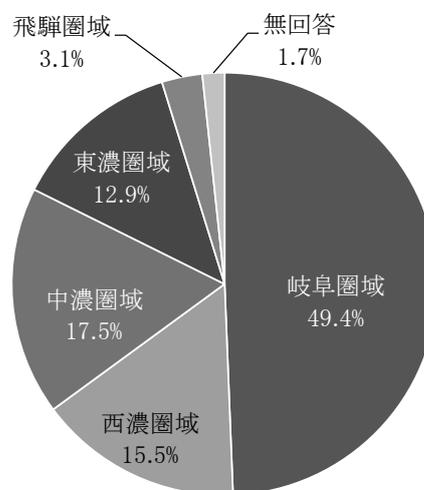
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	18	2.5%
20歳代	82	11.5%
30歳代	115	16.1%
40歳代	128	17.9%
50歳代	132	18.5%
60歳代	134	18.7%
70歳以上	96	13.4%
無回答	10	1.4%
計	715	100.0%



(3) 居住圏域別

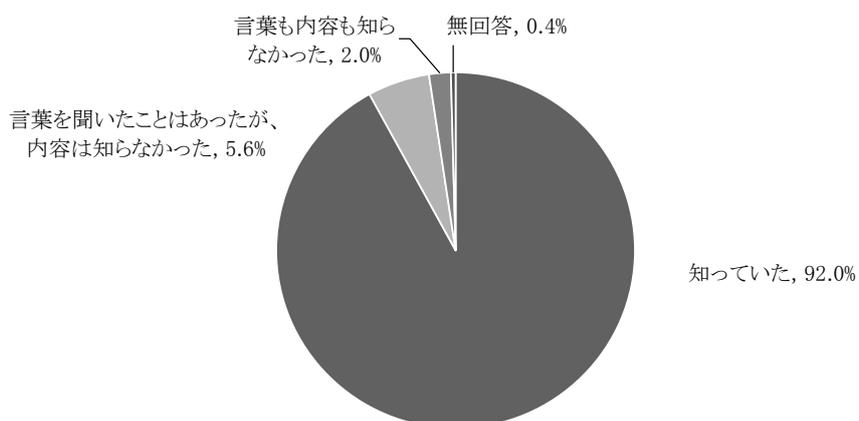
	人数	割合
岐阜圏域	353	49.4%
西濃圏域	111	15.5%
中濃圏域	125	17.5%
東濃圏域	92	12.9%
飛騨圏域	22	3.1%
無回答	12	1.7%
計	715	100.0%



5 調査結果

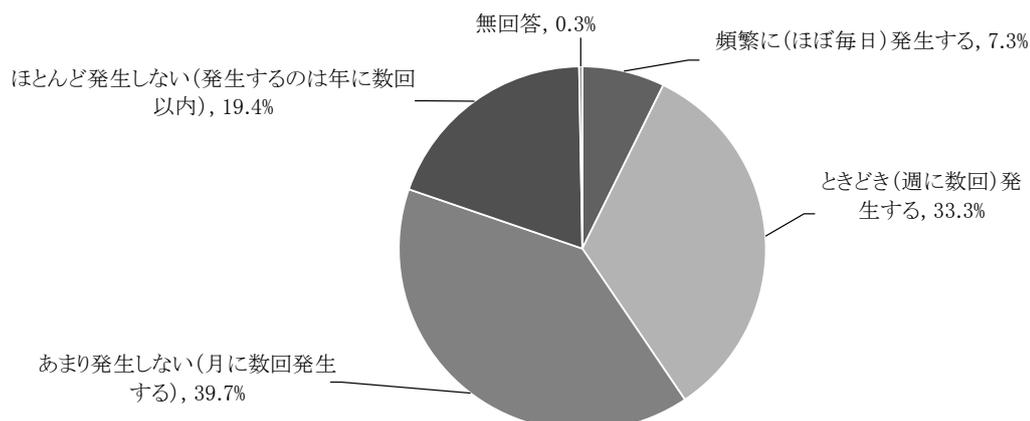
問1 あなたは、食品ロスという問題を知っていましたか。

	人数	割合
知っていた	658	92.0%
言葉を聞いたことはあったが、内容は知らなかった	40	5.6%
言葉も内容も知らなかった	14	2.0%
無回答	3	0.4%
計	715	100.0%



問2 あなたのご家庭では、どのくらいの頻度で食品ロスが発生していますか。

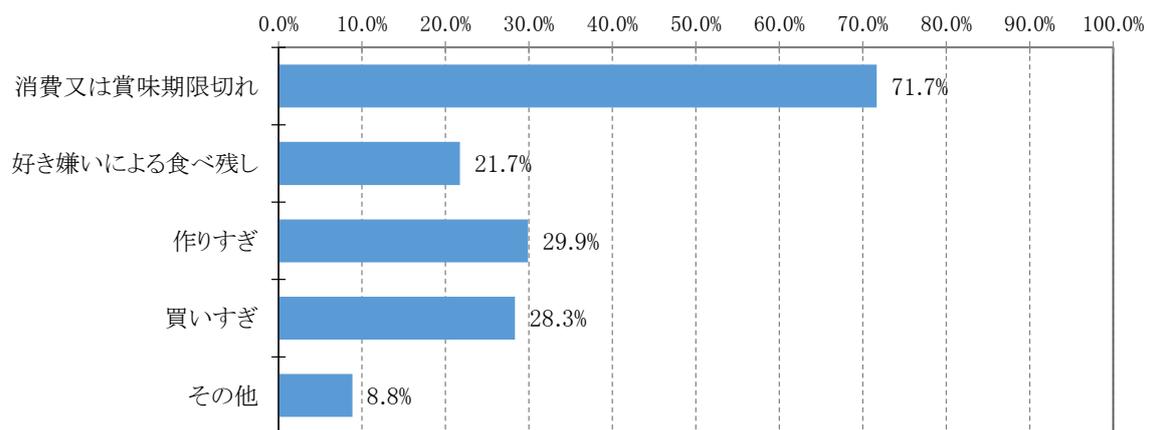
	人数	割合
頻繁に(ほぼ毎日)発生する	52	7.3%
ときどき(週に数回)発生する	238	33.3%
あまり発生しない(月に数回発生する)	284	39.7%
ほとんど発生しない(発生するのは年に数回以内)	139	19.4%
無回答	2	0.3%
計	715	100.0%



問3 あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。

(複数回答) 回答者 713 人

	人数	割合
消費又は賞味期限切れ	511	71.7%
好き嫌いによる食べ残し	155	21.7%
作りすぎ	213	29.9%
買いすぎ	202	28.3%
その他	63	8.8%
計	1144	-



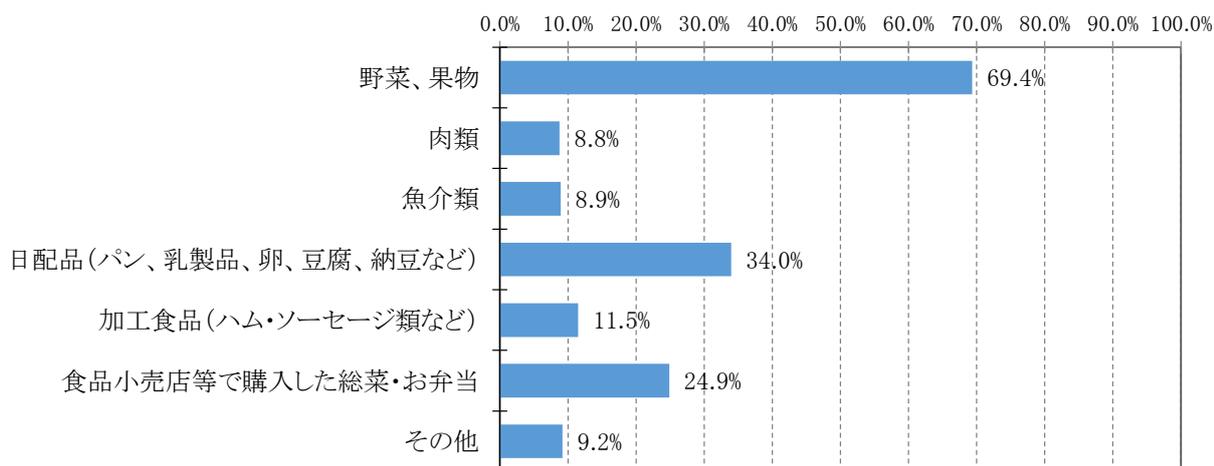
【その他の主な回答】

- ・ いただき物
- ・ 家庭での過多収穫

問4 あなたのご家庭で処分(廃棄)することが多い食品はどのような種類ですか。

(複数回答) 回答者 695 人

	人数	割合
野菜、果物	482	69.4%
肉類	61	8.8%
魚介類	62	8.9%
日配品(パン、乳製品、卵、豆腐、納豆など)	236	34.0%
加工食品(ハム・ソーセージ類など)	80	11.5%
食品小売店等で購入した総菜・お弁当	173	24.9%
その他	64	9.2%
計	1158	-



【その他の主な回答】

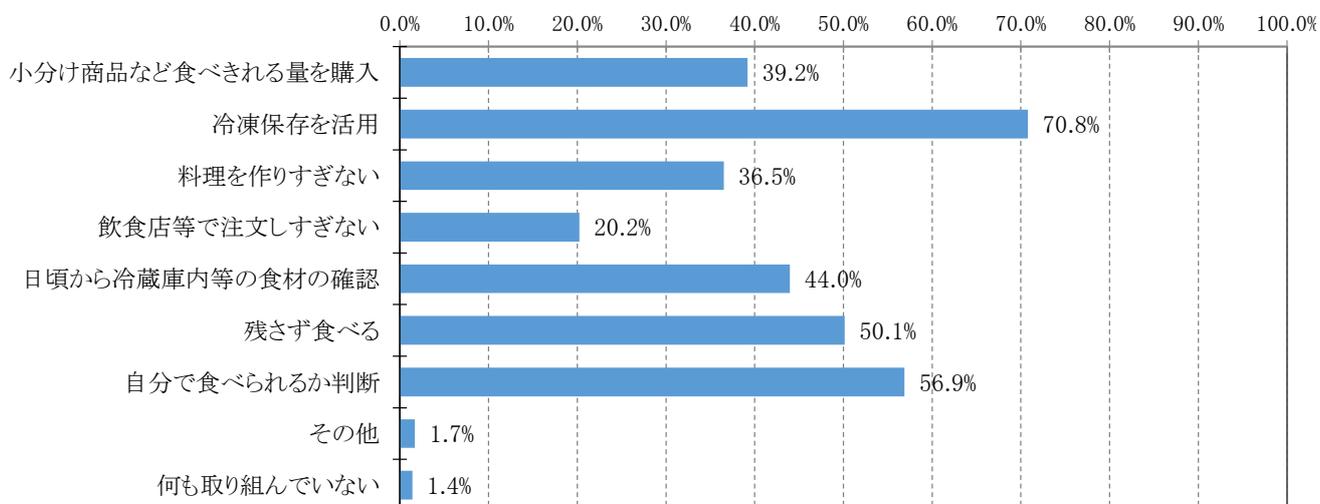
- ・ 調味料
- ・ 家庭で調理したもの

問5 あなたのご家庭では、食品ロスの削減に関してどのようなことに取り組んでいますか。

(複数回答)

回答者 712 人

	人数	割合
小分け商品、少量パック商品、バラ売りなど、食べきれる量を購入する	279	39.2%
冷凍保存を活用する	504	70.8%
料理を作りすぎない	260	36.5%
飲食店等で注文しすぎない	144	20.2%
日頃から冷蔵庫内等の食材の種類・量・期限表示を確認する	313	44.0%
残さず食べる	357	50.1%
「消費又は賞味期限」を過ぎてもすぐ捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する□	405	56.9%
その他	12	1.7%
何も取り組んでいない	10	1.4%
計	2284	-



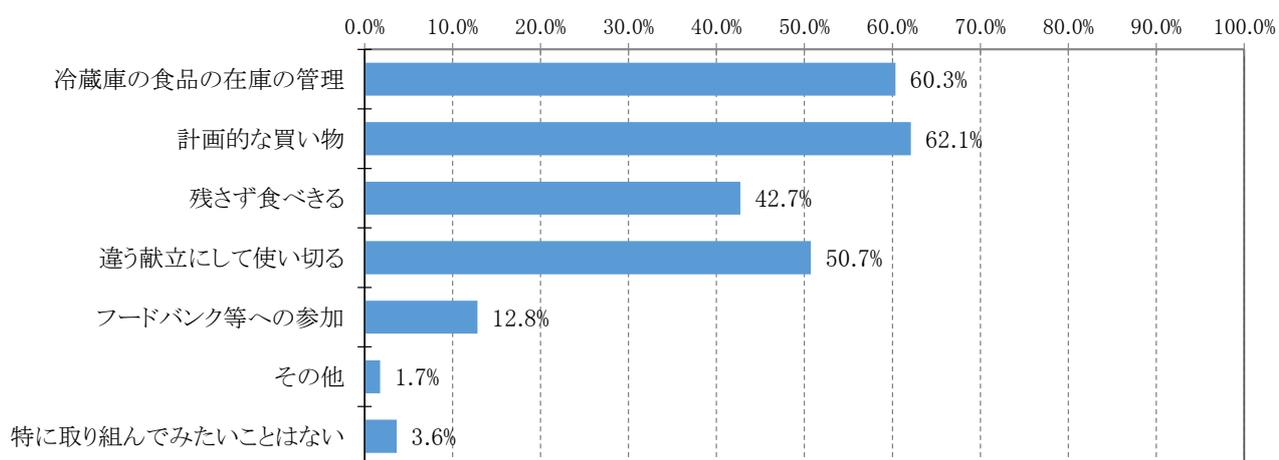
【その他の主な回答】

- ・ あらかじめ献立を決めて買い物に行く
- ・ 残りものをアレンジする

問6 あなたが、食品ロスを削減するために今後取り組んでみたいことはありますか。

(複数回答) 回答者 686 人

	人数	割合
冷蔵庫などにある食品の在庫の管理	414	60.3%
食べられる分だけ買うなどの計画的な買い物	426	62.1%
食品を残さず食べきる	293	42.7%
残った食品を違う献立にして使い切る	348	50.7%
家庭で食べきれない食品を持ち寄り、食糧支援を必要とする福祉施設や団体などに寄付する活動(フードバンク、フードドライブ)への参加	88	12.8%
その他	12	1.7%
特に取り組んでみたいことはない	25	3.6%
計	1606	-



【その他の主な回答】

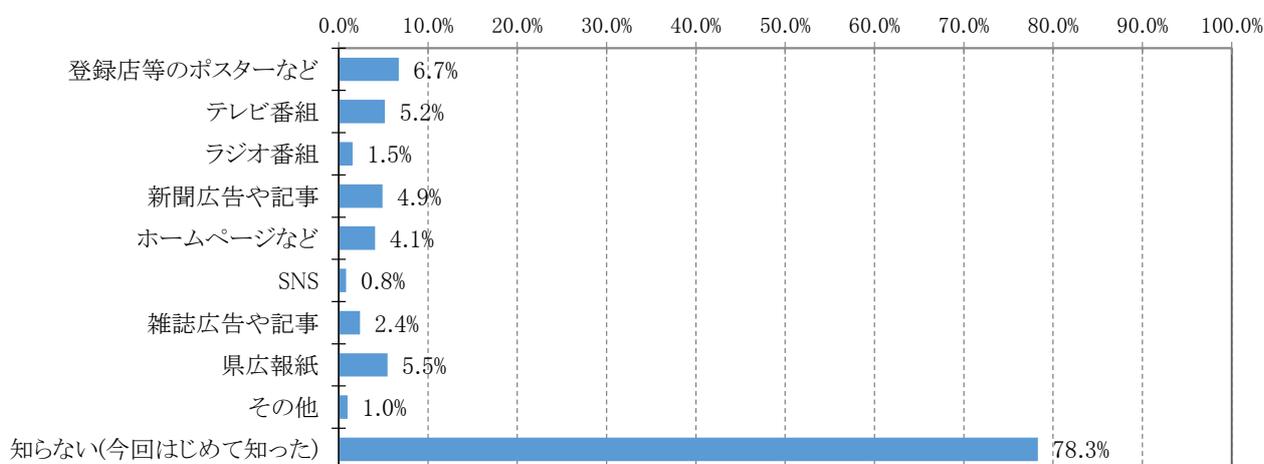
- ・ 冷凍保存
- ・ 地産品の活用

問7 あなたは、食品ロスに関する県の取組として「ぎふ食べきり運動」を知っていましたか。
知っている場合は、どのように知りましたか。

(複数回答)

回答者 714 人

	人数	割合
「ぎふ食べきり運動」登録店・登録企業のポスターやのぼりで知った	48	6.7%
テレビ番組で知った	37	5.2%
ラジオ番組で知った	11	1.5%
新聞広告や記事で知った	35	4.9%
ホームページなどインターネットで知った	29	4.1%
SNSで知った	6	0.8%
雑誌広告や記事で知った	17	2.4%
県広報紙で知った	39	5.5%
その他	7	1.0%
知らない(今回はじめて知った)	559	78.3%
計	788	-



【その他の主な回答】

- ・ 農業フェスティバル
- ・ F C 岐阜の試合

問8 その他、食品ロスに関する県の施策に関してご意見など(主な意見)

- ・ 消費期限の近づいた食品、食材について小売店で見切り販売をしていただけるように行政の方からも呼び掛けなどしてほしい。
- ・ 県の取り組みである食べきり運動や、レシピコンテストがあるようだが、効果よりも、その活動、運動を知らなかったので、まずは広く知らしめる活動が必要。
- ・ 親である私たちの学びも重要だが、学校教育を通して、食品ロス運動、さらには食育や岐阜の地産について広げられたら、子どもたちが大人、親になったとき、いかされ、より意味のある活動といえるのではないか。